

Title	懷徳堂記事
Author(s)	
Citation	懷徳. 1936, 14, p. 86-86
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/88966">https://hdl.handle.net/11094/88966</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 懷德堂記事

八六

▲記念祭典 昭和十年十月五日記念祭典を執行

し、終つて文學博士新村出先生の『漢字漢語管

見』と題する講演あり。(該速記は本誌に收む)

▲東久邇宮殿下 十二月十九日午前十一時十分

軍事參議官東久邇宮殿下には南部御附武官を隨

へさせられ御台臨、本堂事業に付小倉理事長、

今井理事の御説明を御聽取後堂内御一巡、午前

十一時五十分御退出遊ばされたり。

▲劉文典氏 北平清華大學教授の同氏は昭和十

一年四月十四日來堂二十六日まで滯留碩園文庫

の楚辭に就て研究し、二十七日歸國せり。

▲碩園先生遺集 豫て印刷中なりし西村碩園先

生遺集全五冊十月一日全く成る。

▲重建二十周年祝典 十月十日記念祭典執行後

重建滿二十周年祝典を舉行、終つて文學博士狩

野直喜、文學博士武内義雄兩先生の講演あり。

## 堂友會記事

幹事 酒井全太郎

▲昭和十年十月九日

本堂記念祭典に會員一同奉仕、會誌第十三號

を頒布する。

▲十月二十九日

流石の豪雨雷鳴も午前八時頃になつて漸く小

雨となる。大軌上六驛に集合、九時發、奈良

終點にて中村直勝先生を迎へ古梅園製墨工場

見學、春日神社々務所にて休憩、中村先生の

講話を拜聽、春日神社、若宮神社に參拜、寶